

## 埼玉・東京・千葉の私立高校の変更点

## 埼玉県

## ■学科・コースを変更

- 浦和学院（さいたま市）→進学類型にアスリート選抜コースを新設。国際、特進、進学の3類型、進学類型は、文理選抜、文理進学、総合進学、アスリート選抜、保健医療、アートの6コース制。
- 大宮開成（さいたま市）→特進選抜Sコースを募集停止。特進選抜・先進、特進選抜I、特進選抜IIの3コース制に。
- 西武学園文理（狭山市）→英語科を募集停止。普通科をグローバルクラス、エリート選抜東大クラスをグローバル選抜クラス、理数科を先端サイエンスクラスに再編。普通科スペシャルアビリティクラスとあわせ4クラス制に。
- 武蔵野音大附属（入間市）→作曲専攻を新設。音楽、鍵盤楽器、弦楽器、管楽器、打楽器、各専攻とあわせ6専攻制に。
- 東京農業大学第三（東松山市）→Iコースにグローバル課程を設置。
- 本庄第一（本庄市）→A I類型をアドバンスとスタンダードに分割。S、A I、A IIの3類型2コース制へ。

## 東京都

## ■ 高校募集停止

本郷（文京区）

## ■ 校名変更・共学化

- 広尾学園小石川（文京区）→旧校名 村田女子、共学化、本科、インターナショナルクラスの2コース制に再編。
- 八雲学園（目黒区）→共学化。

## ■ 学科・コースの変更

- 武蔵野大附千代田（千代田区）→I B、I Q、G A、L A、M I、M Sの6コース制から選抜探求（I B・グローバル探求・医療探求）、附属進学（文・理）の2コース5系へ再編。
- 神田女子学園（千代田区）→グローバル、アドバンス、フューチャーの3コース制から国際教養（ダブルデュプロマ・ロンクスティ）、高度教養（多言語学習・医薬看・医療）、総合教養（国私大進学・自己表現）の3コース6クラス制に再編。
- 品川エトワール（品川区）→保育コース新設。キャリアデザイン、国際キャリア、マルチメディア表現、ネイチャースタディとあわせ5コース制へ。
- 自由ヶ丘学園（目黒区）→選抜進学にフロンティアコースを新設。特別進学（プログレス、アドバンス）、選抜進学（グローバル、サイエンス、アスリート）、総合進学（フロンティア）とあわせ7コース制へ。
- 日本工業大駒場（目黒区）→普通科に文理未来コースを新設。理数工学科、創造工学科を募集停止。特進、理数特進、総合進学とあわせ普通科のみ4コース制に。
- 佼成学園女子（世田谷区）→特進、特進留学、特進文理（文理、メディカル、スーパーグ

ローバル) コースを国際 (留学、スーパーグローバル)、特進、進学コースに再編。

○ 日本女子体育大附二階堂 (世田谷区) →総合進学、体育、保健福祉の3コースを特別進学、キャリアデザインの2コースに再編。

○ 佼成学園 (杉並区) →グローバルコースを新設。

難関国公立、文理コースとあわせ3コース制に。

○ 桜丘 (北区) →特進、CL、特進の3コースをスーパーアカデミック (難関選抜)、アカデミック (文理特進)、グローバルスタディズ、キャリアデザインの4コース制に再編。

○ 八王子実践 (八王子) →文理 (文理選抜・文理進学) コースを選抜コースに改編。特進、特進選抜、総合進学とあわせ4コース制に。

## 千葉県

### ■校名変更・共学化

○ 光英VERITAS (松戸市) →旧校名 聖徳大付属女子。音楽科募集停止。共学化。

### ■学科・コースの変更

○ 八千代松陰 (八千代市) →特進AEMコース新設。進学、特進IGS コースとあわせ3コース制に。

○ 千葉日大第一 (船橋市) →普通科を特進、進学のクラス制に改編。

○ 流通経済大付柏 (柏市) →Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの類型制から、総合進学、スポーツ進学、特別進学コースに改編。スポーツ進学コースは共学募集へ

○ 木更津総合 (木更津市) →進学コース新設。特別進学、総合コースとあわせて3コース制へ。

埼玉県中学校長会 会員 様

埼玉県中学校長 会長 清野 定信  
同進路指導部 部長 土橋 徹嘉

## 令和3年度高等学校等の生徒募集にかかわる関係事務について

このことについて、昨年度までに確認した事項、今年度これまでに本部役員会、常任理事・理事会等で合意に至った事項を「Q&A」形式にして、下記のとおりお知らせいたします。

なお、この内容は埼玉県中学校長会の指針ですが、最終判断、最終責任は各校長にあることに留意して、各学校で適正な進路指導がなされますようお願いいたします。

## 記

## I 入試相談・打合せ等について

Q1：高等学校等の開催する学校説明会に教員を派遣してよいか。

A1：望ましい進路指導が行われるよう説明会等に教員を積極的に派遣し、適切な情報を把握するよう配慮してください。

なお、入試業務に関する旅費は県（市）で予算措置がされており、学校配当旅費の中に含まれています。

Q2：中学校は、高等学校等と生徒一人一人の進路相談を行ってよいか。

A2：生徒の進路実現のために、積極的に高等学校に出向くなど、進路情報の収集を行ってください。その際、生徒の希望や能力、適性を探るマッチングに関する情報交換は県が進めている「自分を活かす」進路選択を支援するために重要なことです。

進路相談は、原則として12月15日の「進路打合せ」開始日以降に行い、その「進路打合せ」の中で、全体的な合否ライン等について話し合ってもよいが、個々の生徒の入学の内定などを求めるものではないことなどに留意することが必要です。

Q3：私立高等学校から、12月15日以前に志願希望者の人数や氏名の報告を求められた場合に、どのように対応したらよいか。

A3：12月15日以前でも、あくまでもその時点での状況として、志願希望者の人数や氏名を知らせてもかまいません。

Q4：私立高等学校から、出願前に各入試の基準を満たしている者の人数を求められた場合に知らせてもよいか。

A4：知らせてもかまいません。

Q5：都内のある私立高等学校は、入試相談に教員が出席しない場合には、その学校の生徒が不利になると公言しています。このような場合には、どのように対応したらよいか。

A5：都内の私立高等学校の一部では、上記のような例があると聞いています。「入試相談」に職員を派遣できないことで生徒が不利になることは容認できないことであり、管理職間で連絡を取り、埼玉県の実態に御理解いただける場合がほとんどですが、無理な場合は至急、県中学校長会に連絡をお願いします。

Q 6 : ある県公立高等学校の部活動顧問から、中学校の顧問宛に体験入部の通知が送られてきた。どのように対応したらよいか。

A 6 : 県公立高等学校からの体験入部の通知は、高等学校長から中学校長宛の文書として発出するようお願いしてあります。通知を受けた中学校顧問は、まず中学校長に報告をし、報告を受けた校長は該当高等学校長に連絡し、適切な対応をお願いしてください。

また、県公立高等学校において中学校3年生を対象とする体験入部の実施は、夏季休業までとなっていますが、学校説明会における部活動見学は、その限りではありません。

なお、私立高等学校においてはこの範囲ではないので個別の対応が必要です。

Q 7 : ある専門学校の説明会に教員を派遣したところ、説明資料の封筒に「御車代」として現金が入っていたとの報告を受けた。どのように対処したらよいか。

A 7 : 出張として派遣しており、いかなる現金（金券）も受け取れません。

## II 入試事務・調査書等について

Q 8 : 高等学校から、調査書以外に通知表、通知書、公的テストの結果等の提出を求められた場合、  
どのように対応したらよいか。

A 8 : 通知表、通知書、公的テストの結果等を中学校が入試の資料として高等学校に提供することはできません。通知表・通知書は学校が保護者や生徒に対して通知するものであり、他へ提供することは個人情報流出の疑いもあります。

Q 9 : 保護者から、「志望する私立高等学校から通知表・通知書の提出を求められたので提出してもよいか」と問い合わせがあった場合に、どのように対応したらよいか。

A 9 : 通知表・通知書は、学校から保護者や生徒に対して通知するものであり、高等学校に提出する性格のものではありません。しかし、提出の可否については、最終的には保護者の判断になります。

Q 10 : 実施要項には「中学校長は、『成績及び諸活動等の記録通知書』を作成し令和3年2月1日（月）までに、志願者の保護者に通知すること」とありますが、いつごろがよいか。また、どのように通知したらよいか。

A 10 : 出欠の記録を含む正式な「成績及び諸活動等の記録通知書」については、12月末の最終授業日から2月1日（月）までに通知することが考えられます。

ただし、進路選択に資するという観点から、確定した評定などをこれ以前に保護者等に知らせることは差し支えありません。

Q 11 : 私立高等学校等へ、「学習の記録等学年内評価分布表」及び「学習の記録等一覧表」を提出してよいか。

A 11 : 私立高等学校等では県公立高等学校の調査書と同じものを入試の資料としている場合も多く、求められたら志願者のいる私立高等学校等に送付して問題ありません。

Q 12 : 12月15日に「調査書」の評定の記録を求める高等学校も多いが、どのように対応したらよいか。

A 12 : 関東の多くの私立高等学校では12月15日が進路打合せの開始日となっており、受験希望者の資格確認のため評定等の記録を求められることもあります。

各中学校においては、生徒の不利益とならないよう、余裕を持って評定等の決定を行い、12月1

5日に間に合うよう必要に応じて生徒・保護者へ伝えてください。

生徒・保護者への伝え方については、各学校の判断によると思いますが、参考例を別紙に示します。ただし、これはあくまでも生徒や保護者の求めに応じて生徒や保護者に伝えるものです。

### Ⅲ 進路指導全般について

Q13：公的テストの偏差値を活用して、生徒・保護者との進路指導を行ってよいか。

A13：公的テストの偏差値を進路指導の一資料とすることは問題ありません。ただし、偏差値は「自分を活かす」高等学校選択をするために、生徒が自分の学力を把握するための資料であり、偏差値によって高等学校を選択するなど輪切りの進路指導にならないように留意する必要があります。

Q14：生徒が個人的に受けた業者テストの結果を、中学校での進路相談などに活用してもよいか。

A14：生徒の進路・学校選択について中学校で相談したり、支援したりする際には、多くの客観的な資料を用いることが必要であり、業者テストや校外での様々な資格試験等の結果を活用することは問題ありません。

ただし、業者テスト等はすべての生徒が受けているわけではないことを踏まえ、活用にあたっては、保護者の了解等を得るなどの配慮が必要です。

なお、業者テストの結果を高等学校等に提供することは、平成5年の文部事務次官通知に抵触するためできません。

Q15：公的テストの結果を高等学校から求められた場合、提供してよいか。

A15：公的テストの結果を高等学校に提供することは、平成5年の文部事務次官通知に抵触するので認められません。

Q16：県公立高等学校入学者選抜における学力検査得点を中学校が活用するにあたって、どのような方策が考えられるか。

A16：地区の中学校長会等が、個人情報の取扱いに留意しながら、学力検査得点の情報等を持ち寄って、集約・分析し、翌年度以降の各校の進路指導に活用することなどが考えられます。

Q17：進路指導に関する中高の連携はこれまでも進めてきているが、今後、どのように推進していったらよいか。

A17：すでに連携を進めている学校も多いが、まだ高等学校との連携に消極的な中学校もあります。中学校が県立高等学校等へ足を運んだ際には、十分に対応するとの県教委（県立学校部）からの回答もあり、普段、接点が少ない専門学科の状況を普通科以上に理解したり、将来の職業観を見すえた「キャリア教育」の視点で高等学校と連携するなど、早い段階から進学指導にとどまらない進路指導を推進してください。

〈補足〉

「埼玉県中学校進路指導・キャリア教育指導資料」（平成28年3月に埼玉県教育委員会から各学校に配布）の38ページから記載されている「Ⅳ 中学校における進路指導・キャリア教育についてのQ&A」についても、十分な教職員への周知をお願いします。

Q12 の 参考例

※生徒・保護者から学校長へ

調査書等の評定の事前通知希望願

高校等の出願のため、下記の資料が必要となりますので、対応をお願いします。  
 なお、通知された情報については当該高校との入試相談以外には使用しません。

3年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

印

記

- 1 対象学校名
- 2 必要な資料

※学校長から生徒・保護者 様へ

調査書等の評定について（通知）

対象生徒 3年 組 番 男・女 生徒氏名

		3科	5科	9科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技家	保体	外国語
通知表 3年2学期													
調 査 書	1年												
	2年												
	3年												
その他													

調査書等の評定については上記の通りです。

令和 年 月 日

〇〇立〇〇中学校 校長 〇〇〇〇

公開日：令和2年（2020）10月8日

令和3年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について、お知らせします。

## 1 高等学校

## 1 全日制課程

## (1) 募集概要

区分	令和3年度	令和2年度	増△減	備考
学校数	170校	171校	△1校	新設 1校 4学級 募集停止 2校 △4学級 学級減 [31校] △31学級 計 △31学級
学級数	1,004学級	1,035学級	△31学級	
募集人員	39,250人	40,470人	△1,220人	

## (2) 新設（1校 4学級）

都立高校改革推進計画に基づく高校の新設に伴い、募集を行う。

学校名	学科名	令和3年度	令和2年度	増△減
赤羽北桜	保育・栄養科	2学級	—	2学級
	調理科	1学級	—	1学級
	介護福祉科	1学級	—	1学級
合計1校				4学級

## (3) 募集停止（2校 △4学級）

学校名	学科名	令和3年度	令和2年度	増△減
富士	普通科	—	2学級	△2学級
武蔵	普通科	—	2学級	△2学級
合計2校				△4学級

※ 高校段階での生徒の募集を停止し、附属中学校の生徒の募集規模を拡大する。

## (4) 募集学級の増減

## ア 学級減（31校 △31学級）

学校名	学科名	令和3年度	令和2年度	増△減
千歳丘	普通科	6学級	7学級	△1学級
杉並	普通科	7学級	8学級	△1学級
練馬	普通科	6学級	7学級	△1学級
青井	普通科	5学級	6学級	△1学級
足立新田	普通科	6学級	7学級	△1学級

淵江	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
葛飾野	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
富士森	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
府中西	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
日野	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
東村山西	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
福生	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
清瀬	普通科	6 学級	7 学級	△1 学級
久留米西	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
秋留台	普通科	5 学級	6 学級	△1 学級
田無	普通科	7 学級	8 学級	△1 学級
総合工科	機械・自動車科	1 学級	2 学級	△1 学級
杉並工業	電子科	1 学級	2 学級	△1 学級
荒川工業	電気科	1 学級	2 学級	△1 学級
足立工業	総合技術科	4 学級	5 学級	△1 学級
六郷工科	プロダクト工学科	1 学級	2 学級	△1 学級
芝商業	ビジネス科	5 学級	6 学級	△1 学級
第三商業	ビジネス科	5 学級	6 学級	△1 学級
第四商業	ビジネス科	5 学級	6 学級	△1 学級
葛飾総合	総合学科	5 学級	6 学級	△1 学級
町田総合	総合学科	5 学級	6 学級	△1 学級
墨田川	普通科（単位制）	7 学級	8 学級	△1 学級
美原	普通科（単位制）	5 学級	6 学級	△1 学級
飛鳥	普通科（単位制）	5 学級	6 学級	△1 学級
翔陽	普通科（単位制）	5 学級	6 学級	△1 学級
上水	普通科（単位制）	5 学級	6 学級	△1 学級
合計 31 校				△31 学級

イ 学級増 なし 定時制課程 割愛

## 2 インフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する追検査に係る募集人員

インフルエンザ等学校感染症（新型コロナウイルス感染症を含む。）罹患患者等に該当し受検することができなかった者に対して、出願した都立高校の受検機会を確保するため、全日制課程及び定時制課程の全校において、募集人員の中にインフルエンザ等学校感染症罹患患者等に対する募集人員を定める。

## 資料④

第2表 出生数・公立小学校1年生児童数及び公立中学校3年生生徒数の推移

(単位：人)

出 生 年 度	出生数	公立小学校1年生		公立中学校3年生		出 生 年 度	出生数	公立小学校1年生		公立中学校3年生	
		入学年度	児童数	進学年度	生徒数			入学年度	児童数	進学年度	生徒数
昭和31年度	126,810	38	119,418	46	104,462	63	113,823	7	92,876	15	77,361
32	134,912	39	124,417	47	108,021	平成元年度	106,528	8	87,467	16	73,526
33	148,503	40	133,926	48	115,347	2	103,233	9	86,455	17	72,435
34	155,919	41	136,735	49	116,969	3	102,885	10	87,019	18	73,122
35	165,113	42	140,678	50	119,244	4	100,313	11	86,295	19	72,731
36	176,094	43	145,898	51	123,476	5	99,101	12	87,930	20	73,873
37	184,154	44	150,817	52	127,229	6	101,354	13	92,164	21	77,729
38	194,452	45	156,087	53	131,217	7	96,184	14	88,626	22	74,831
39	211,286	46	167,277	54	141,106	8	98,044	15	91,670	23	76,808
40	213,607	47	168,268	55	142,171	9	97,848	16	91,770	24	77,417
41	197,954	48	154,204	56	130,260	10	99,115	17	93,531	25	79,140
42	226,519	49	175,637	57	150,953	11	99,062	18	93,681	26	79,011
43	231,709	50	177,834	58	153,626	12	99,212	19	94,285	27	79,749
44	228,551	51	175,555	59	151,901	13	98,516	20	93,639	28	79,731
45	229,296	52	177,278	60	154,109	14	99,878	21	93,179	29	78,840
46	232,478	53	180,175	61	157,282	15	98,497	22	93,097	30	78,159
47	230,499	54	178,874	62	156,819	16	98,234	23	91,361	令和元年度	76,989
48	221,360	55	173,078	63	151,526	17	96,808	24	89,262	2	74,642
49	204,746	56	160,473	平成元年度	140,141	18	101,586	25	93,705	3	78,322
50	182,934	57	144,601	2	125,128	19	104,394	26	95,988	4	79,845
51	168,609	58	134,762	3	115,277	20	105,719	27	96,887	5	80,704
52	164,248	59	132,868	4	112,497	21	106,738	28	98,106	6	81,577
53	154,552	60	126,551	5	105,057	22	107,234	29	98,587	7	82,046
54	147,444	61	122,773	6	100,083	23	106,114	30	98,097		
55	138,132	62	115,644	7	92,400	24	107,549	令和元年度	99,333		
56	135,540	63	112,942	8	90,535	25	109,271	2	100,887		
57	133,846	平成元年度	111,155	9	89,209	26	112,412	3	103,106		
58	132,349	2	109,400	10	88,444	27	113,505	4	103,926		
59	129,109	3	106,224	11	85,870	28	110,701	5	101,188		
60	126,178	4	101,565	12	82,744	29	108,293	6	98,927		
61	120,786	5	96,991	13	79,491	30	105,152	7	96,285		
62	116,956	6	94,592	14	78,263						

太枠内の値は推計値、それ以外は実数である（表の見方については第2図の説明を参照）。

※ 平成30年度出生数は速報値。

小学校と中学校の学習指導要録 参考書式

様式2 (指導に関する記録)

児童氏名		学校名		区分	学年	1	2	3	4	5	6						
				学級													
				整理番号													
各教科の学習の記録						特別の教科道徳											
教科	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6	学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子							
国語	知識・技能								1								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								2								
	評定																
社会	知識・技能								3								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								4								
	評定																
算数	知識・技能								5								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								6								
	評定																
理科	知識・技能								外国語活動の記録								
	思考・判断・表現								学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度					
	主体的に学習に取り組む態度								3								
	評定																
生活	知識・技能								4								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								総合的な学習の時間の記録								
	評定								学年	学習活動	観 点	評 価					
音楽	知識・技能								3								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								4								
	評定																
図画工作	知識・技能								4								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度								5								
	評定																
家庭	知識・技能								6								
	思考・判断・表現																
	主体的に学習に取り組む態度																
	評定																
体育	知識・技能								特別活動の記録								
	思考・判断・表現								内 容	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6
	主体的に学習に取り組む態度								学級活動								
	評定								児童会活動								
外国語	知識・技能								クラブ活動								
	思考・判断・表現								学校行事								
	主体的に学習に取り組む態度																
	評定																

様式2 (指導に関する記録)

生徒氏名	学校名	区分	1	2	3
		学年			
		学級			
		整理番号			

各教科の学習の記録											
教科	観 点	学 年	1	2	3	教科	観 点	学 年	1	2	3
国語	知識・技能					国語	知識・技能				
	思考・判断・表現						思考・判断・表現				
	主体的に学習に取り組む態度						主体的に学習に取り組む態度				
	評定						評定				
社会	知識・技能					特別の教科道徳					
	思考・判断・表現					学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子				
	主体的に学習に取り組む態度					1					
	評定										
数学	知識・技能					2					
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度					3					
	評定										
理科	知識・技能					総合的な学習の時間の記録					
	思考・判断・表現					学年	学習活動	観 点	評 価		
	主体的に学習に取り組む態度					1					
	評定										
音楽	知識・技能					2					
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度					3					
	評定										
美術	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
	評定										
保健体育	知識・技能										
	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
	評定										
技術・家庭	知識・技能					特別活動の記録					
	思考・判断・表現					内 容	観 点	学 年	1	2	3
	主体的に学習に取り組む態度					学級活動					
	評定										
知識・技能					生徒会活動						
思考・判断・表現											
主体的に学習に取り組む態度						学校行事					
評定											
知識・技能											
外国語	思考・判断・表現										
	主体的に学習に取り組む態度										
	評定										